

今年も作家訪問を実施しました！

～はやみねかおる先生の巻～

◆2022年7月15日(金)の放課後、東京都立成瀬高等学校図書委員会は、第9回「作家訪問」を図書室にてオンライン(Zoom)で実施しました。インタビューしたのは、はやみねかおる先生で、参加生徒は15名、生徒の司会・進行で50分にわたり、和やかな雰囲気の中、行われました。生徒は事前に作品を読み込んでインタビューの準備を行い、質問を32問に絞り込んで臨みました。当日は、緊張しながらも一人ひとりが質問リストに沿って先生とお話することができ、大変満足そうな様子でした。インタビュー終了後、はやみね先生がご自身の仕事場、書庫をオンラインで案内してくださるといふサプライズがあり、みな興奮していました。

このインタビュー記録は、委員会広報誌「木馬」第109号(Web版も発行)に掲載予定です。

【はやみねかおる先生プロフィール】1964年4月16日、三重県生まれ。三重大学・教育学部数学科を卒業。学生時代から執筆を始めたが、小説家になる夢を一度は諦め小学校で14年間勤務。教師として働きながら生徒に読み聞かせる作品を執筆し、1989年『怪盗道化師(ピエロ)』が「第30回講談社児童文学新人賞」の佳作に入選し作家デビュー。「勇嶺薫」名義の作品もある。代表作は累計200万部を突破した『都会(まち)のトム&ソーヤー』シリーズを始め、「名探偵夢水清志郎事件ノート」シリーズ、「怪盗クイーン」シリーズ等々。2007年には大人のためのミステリー『赤い夢の迷宮』、2018年にはSNSを舞台にしたヤングアダルト向けミステリー『奇譚ルーム』(朝日新聞出版)を手掛け、子どもから大人まで幅広いファンを持つ。



〈オンラインインタビューの様子〉

貴重なお時間を割いて丁寧に質問にお答えくださったはやみね先生、取り次いでくださった出版社様、本当にありがとうございました。
(司書 池田)